

第2回 厚生労働省のEBPM推進に係る有識者検証会

その他EBPMの取組について

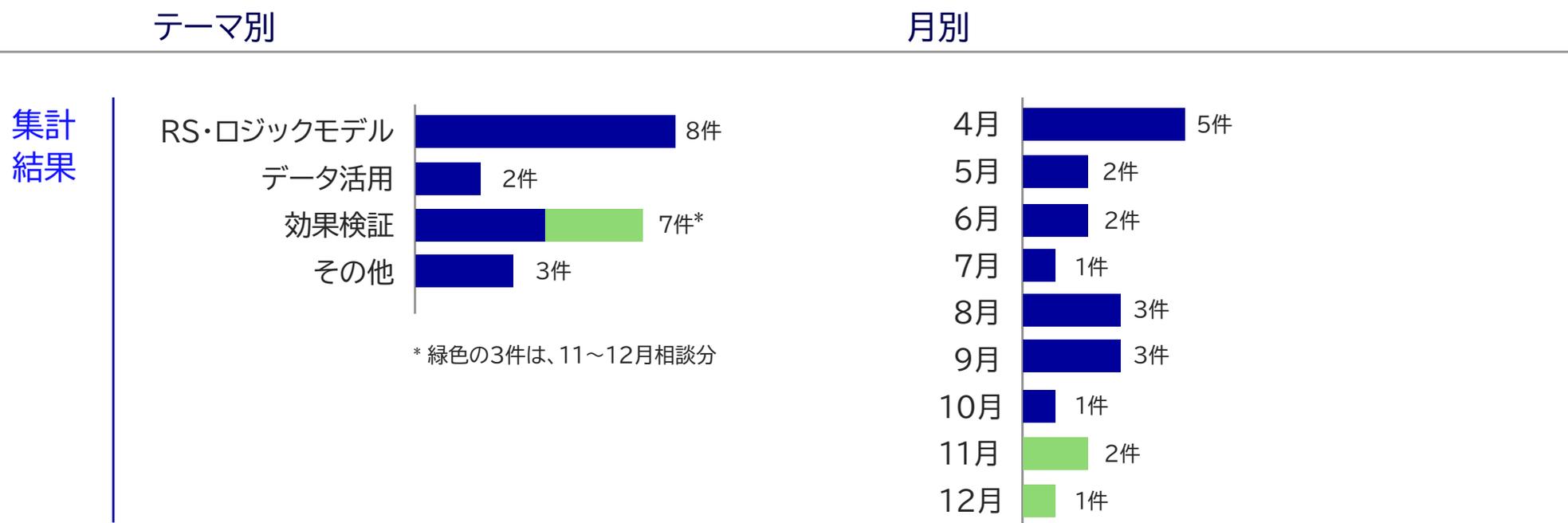
株式会社メトリクスワークコンサルタンツ

2026年2月13日
2026年3月3日修正



EBPMよろず相談所 (4~12月)

12月までに計20件の相談が寄せられ、テーマ別では、行政事業レビューシート(以下「RS」という。)・ロジックモデル、効果検証に関する相談が多かった



傾向

- 特に、RS・ロジックモデル、効果検証の相談が多い
- RS・ロジックモデルでは、ロジックの整理やアウトカム・指標設定に関する相談が多く見られた
- 効果検証では、分析手法や必要なデータ・粒度、検証までの手順に関する相談が多く見られた
- 毎月一定数の相談が寄せられている
- 4~8月は、省内外への説明・対応方針の検討のため、データ活用や効果検証に関する相談が多く見られた
- 11~12月は、来年度効果検証候補事業の担当課とデータ取得等に関する相談を実施した

EBPM研修

RSを担当する厚生労働省職員を対象に実践担当者研修を実施したが、RSの点検結果等を踏まえて、研修教材の抜本的な見直しを行っている

■ 目的

- 行政事業レビューにおいて実践する「**基礎的なEBPM**」の実践に必要な知識の習得等

■ 実施状況

- 「**基礎的なEBPM**」を実践する担当者を対象に、オンライン研修(eラーニング)により、**EBPMの基礎知識(定義や手順等)や、RS作成による「基礎的なEBPM」の実践の考え方**等を説明した



■ 現状・課題

- RSの点検により、**概要・目的欄(事業の目的、現状・課題、事業の概要)や効果発現経路(アクティビティ、アウトプット、アウトカム)が適切に記載されていない事業が多く見られた**
- RSの点検結果を踏まえると、**RSのEBPM関係部分に関する実践的な知識(記載事項等)や内閣官房行政改革・効率化推進事務局が作成している執務参考資料が職員に浸透していないことが考えられる**
- 現在の実践担当者研修は、RSの目的や構成要素を説明しているが、**具体的なEBPMに関する項目の書き方等は扱っていない**

■ 今後の方向性

- 職員がRSに関する実践的な知識を習得し、RSの改善につながるよう、来年度に向けて、**実践担当者研修で使用している教材の抜本的な見直し**を行っている